

② 田奈から子供の国 恩田と奈良地区を歩く 催行日 4月13日(水)

A/B 班は田園都市線の田奈駅下車 9:00 集合 C 班は長津田で乗り換えて恩田駅で下車 9:30 集合

田奈駅—(恩田の茶屋跡)—神鳥前川神社—石塔坂と宝篋院塔—五輪塔形式の庚申塔—椎木地藏尊—恩田神明社—恩田薬師堂—徳恩寺—松岳院—県立横浜中学校生徒の遭難碑—こどもの国駅





駅の改札口を出ると正面に子供の国へ向かう道が横切っています。まず右手（東側）に向かいます。頻繁に行きかう自動車に注意しながら246号線の下にあるトンネル（谷本中学の美術部の生徒が素敵な絵を壁一面に描いています）をくぐると大山街道と交わります。

神鳥前川神社境内



神社裏にある富士塚



宝篋院塔



五輪塔形式の庚申塔

その左側に「恩田の茶屋」跡がありますが、現在は何も面影を残していません。そこから100m程行った左手に神鳥（シトド）前川神社があります。ここまで10分位でしょうか。本殿の裏手に回ると赤い鳥居の先に富士塚があり庚申塔などが沢山あります。正面の階段を下って戻ります。

246号線のトンネルをくぐり、右折して道なりに上り右折すると突き当りにお墓があり、その中に「宝篋院塔」があります。階段を下りて右に、左にカーブしながらだんだらと坂を上り、突き当たって左折、直進します。

信号を過ぎて上り下りをしていくと左手のフェンスの奥に稲荷社と「五輪塔形式の庚申塔」があります。ここは案内なしに見つけることは不可能です。通りに面して案内板が欲しいところです。



トンネルの絵



神鳥前川神社の鳥居





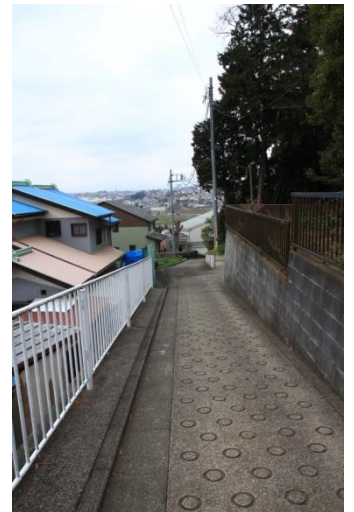
椎木地藏尊



そしてさらに直進し、坂を下って信号を渡り直進、軽いアップダウンをしていくと左手に椎木地藏尊があります。階段のわきには

見晴らしの良い坂道

庚申塔と石祠があり、堂内には多くの地藏石仏や堂の裏には馬頭観音石仏が多くあります。その先の信号を左折して100m程下



って右に曲がります。ここもだらだらと下っていくと右手に恩田神明社が現れます。社殿の右奥には「新明稲荷」「天王社」「三島神社」の三つの社があります。

恩田神明社



本殿左手脇の階段を下りて右に、細い道を直進します。突き当たって左へ、

中恩田庚申塔

また突き当たって右に下ります。右手のお墓が見えて来たらその手前を右に入ります。そのまま道なりに下っていけば子供の国へ通じる街道に出ますが、車を避けてその手前の道を進みます。そしてまた街道に出る左角に「中恩田庚申塔」があり、その裏にローソンがあります。街道を横切って正面の山側に進み、細い竹林の道を上り切った先を左折、階段を下って街道に出て右折、そして直ぐに左手前方に恩田駅が見えてくると、その向か側に「恩田薬師堂」があります。

竹林の道を下る



展望の道



街道に下る道



中恩田の庚申塔



子供の国へ向かう道 恩田駅が見えます



恩田薬師堂

街道に戻りこどもの国線の線路を渡れば右手に徳恩寺が迎えてくれます。立派な由緒あるお寺です。右手の会館には老中柳沢吉保の一族である恩田村を治めていた旗本柳沢信伊の使用した大名籠が展示されています。また寺の左手には弁財天を祀った俱利伽羅龍があります。

徳恩寺山門



子供国線の踏切り



柳沢信伊が使用した大名籠



俱利伽羅龍を祀った弁財天





こどもの国線の電車



奈良川沿いに北上



寺を出て奈良川沿いに進みます。しばらくして左手高台に「松岳院」の藁が見えてきます。

本山は永平寺と鶴見の総持寺 曹洞宗。  
戻って川沿いに進むと直ぐに信号があり、右に踏切があります。  
踏切を渡った先の交差点（神前橋）の左前方に県立横浜第二中学の生徒の遭難碑が建っています。

踏切を渡ります



松岳院境内

昭和19年、この道で将校の乗った乗用車を避けようとしたトラックが奈良川に転落、乗っていた勤労働員された生徒は6人死亡しました。戦時中のことでもあり公表は伏せられました。そして昭和28年、成人した同期生が事故現場に慰霊碑を建てました。

中学生の遭難慰霊碑



昭和19年、この道で将校の乗った乗用車を避けようとしたトラックが奈良川に転落、乗っていた勤労働員された生徒は6人死亡しました。戦時中のことでもあり公表は伏せられました。そして昭和28年、成人した同期生が事故現場に慰霊碑を建てました。

その上の山の階段を上ったところに住吉神社があります。

住吉神社の鳥居







また交差点に戻り川に沿って対岸を進みます。直ぐに左折すると正面に「奈良山公園」があります。一旦公園に入り、左に回り込むように進むと広場に出ます。立派なモニュメントがあり、トイレもきれいです。芝生の広場では親子がボールを蹴って遊んでいました。

公園を突っ切ると子供の国に到着です。帰りはバスで中山、青葉台方面へ向かいます。電車で長津田乗り換えで帰られても結構です。



こどもの国：約 100 ヘクタールの広大な敷地に、自然の中での動物との触れ合いや、冒険、体験したり、作ってみるといった素朴な遊び体験を重視している。

定休日：水曜日 入園料：600 円、小中学生 200 円

公園の広場では子供がサッカーに興じています



子供の国入口の桜並木



旧陸軍の弾薬製造貯蔵施設、終戦後は米軍が接收。1959 年の皇太子ご成婚を記念して、国費と雪印乳業など民間からの寄贈により施設跡地を整備、1965 年開園。開園以来国営であったが、1981 年に民営化された。





\*バスは1時間に2本、子供の国は水曜日はお休みです。電車も単線で1時間に数本です。